

社会福祉法人 太田福祉記念会 令和 4 年度事業計画

誓いの言葉

- 一、私たちは、利用者の人権を尊び、安らぎと生きがいづくりに努めます。
- 一、私たちは、地域福祉の向上を目指し、保健・医療・福祉の連携をすすめます。
- 一、私たちは、常に専門職として、愛の心と技術の向上に努めます。

令和 4 年度事業計画の概要

理念「誓いの言葉」の実現に向け、組織一丸となり経営に取り組む基本的な考え方「戦略的重点項目の三本の柱」により事業を展開する。

1. 職員の育成による質の高い介護サービスの提供
2. 地域福祉からのまちづくり参画
3. 計画的財務管理による健全経営の維持

「1」について、利用者の信頼に応える質の高い介護サービスを提供し続けるためには、常に活力のある組織のもと、計画的な人材育成と長く働ける労働環境づくりが必要不可欠である。人事評価、給与制度、キャリアパス等とリンクする現行研修体制を更に充実させ優秀な人材を育成するとともに、デジタル介護機器の導入や国が推進する 65 歳以上の就労制度を研究するなど、来る労働人口減少問題にも対応できる組織を構築する。

「2」在宅介護への流れに沿い、太田福祉記念会は地域の一員として分野の垣根を超えた福祉の目で自らの地域を見つめ、地域の人々とともに地域の課題解決に継続的に取り組むものとする。2 年以上続くコロナ禍により、地域の福祉ニーズも変化している可能性があり、これまでの児童学習支援活動や家族の介護疲れ軽減策の評価とあわせ、地域が求める家庭機能の補完支援活動を模索する。

「3」国の社会保障政策である介護サービス利用者負担や介護保険料の上昇は、限界に近づいているといわれる中、上記「1」と「2」に加え老朽化する施設の維持とデジタル化などの新たなサービスへの投資を確実に実施できるよう、中期財務計画を活用し健全な経営を図る。

[1] 令和4年度重点事業プラン

経営戦術基本方針

「地域貢献事業の企画・実施」

「福島県一質の高い介護サービスを提供しよう」

「事業所への新型コロナウイルス持ち込みの徹底的排除」

1. 特色ある事業所づくりの推進【平成30年度～ 主担当：各施設長】

- (1) 事業所ごとに組織的努力の「焦点」を明確にし、職員の「使命感」と「情熱」を集中させ、取り組む方向性を見やすくする。
- (2) 利用者や郡山市民に各事業所の提供する介護サービスの特徴を理解していただく。
 - ①法人ホームページや広報誌等を通じ外部へのPR
 - ②利用者からの理解促進、契約件数の増加

2. 太田福祉記念会地域貢献事業（事業費 60 千円）

- (1) 学習支援事業（事業費 30 千円）【平成30年度～ 主担当：玉川ホーム】
 - ・生活困窮世帯の子どもを対象とした学習支援の継続 ※食材料費 30 千円
- (2) 地域密着支援事業（事業費 30 千円）【平成30年度～ 主担当：法人事務局】
 - ①地域福祉の向上に貢献するための事業研究と地域ニーズの洗い出しの継続
 - ②地域住民に密着した事業（深沢地区被災者支援施設等）の研究継続

3. きらきら人材育成事業（事業費 2,394 千円）【主担当：法人事務局】

- (1) 基本研修（事業費 924 千円）
 - ①新採用職員ガイダンス（4月1日、対象者 11名）
 - ②新採用職員研修（3カ月間・6回、対象者 11名）
 - ※専門の外部講師報酬 264 千円
 - ③中核職員研修（6カ月間・12回、10名程度を指名予定）
 - ※専門の外部講師報酬 660 千円
- (2) 外部専門研修等派遣（事業費 1,470 千円）
 - ・年間目標：100 講座 延 150 名 ※オンライン研修を含む

★＝新規項目

[2] 本部事業

1. 法人運営の安定化

★ (1) 情報が迅速に行き交う組織づくり

- ・中間管理職の適正な配置と発令、任用を行う。(副園長、副所長、主任、副主任など)

(2) 経費節減

- ①入札等の実施による経費節減(予算編成時の見積額に対して執行額3%節減)
- ②消耗品や光熱費の適切な節減実施を促進
- ③非常時用消耗品等の計画的備蓄

(3) 公的助成制度の活用

- ・国、県、市等の助成制度による、積極的な補助金、交付金の導入

(4) 生産性向上

★ ① インターコミュニケーションシステム等 ICT 導入による業務効率化及び業務負担軽減策導入に向けた研究

- ②働き方改革や2040年問題に対応するための5S(整理、整頓、清掃、清潔、躰)徹底と3M(ムリ、ムダ、ムラ)の改善

(5) 中・長期事業計画(2023年度~5年、10年)の研究・策定

- ①地域住民の生活に呼応した事業展開の研究
- ②既存事業のあり方の検討

2. 有能人材の確保・育成

(1) 採用条件“技術より人柄の良い人”の発掘

- ①有能な人材を確保するための幅広い求人活動の継続
- ②介護職のプリセプターリーダー配置と処遇制度創設の研究

[3] 特別養護老人ホーム

1. 利用者に質の高い介護サービスを提供

(1) 特別感染症対策事業(共通)

- ①太田福祉記念会伝染性疾病等施設内感染防止対策要綱(以下、「感染防止対策要綱」という。)に基づき、新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ、食中毒などの感染症から利用者と職員を守るため、専門家による講習会の開催や研修会へ職員を派遣し、迅速な対応ができるよう専門知識の習得に努める。
- ②緊急時介護サービス復旧計画(BCP)の発動を想定した職員配置シミュレーションの実施や備蓄品確保など事前対策を継続する。
- ③協力医療機関と連携し、各種ワクチン接種等の感染症対策を継続する。

★ (2) 科学的介護の活用（共通）

- 厚生労働省の科学的介護データベース（通称 LIFE）の利用者毎の口腔機能等に関するフィードバック情報を活用し、エビデンスに基づいた介護サービスを研究する。

(3) 看取り介護体制の充実・強化（玉川ホーム）

- 看取りに関する専門的研修の開催及び利用者、ご家族の精神的支援を継続する。

2. 健全な財務体制の確保と業務効率化の推進

事業所名	目標値（稼働率）		
玉川ホーム (定員：長期 170 名、短期 20 名)	長期	163.5 名/日 (96.1%)	従来型 144.5 名/日 ユニット型 19.0 名/日
	短期	17.0 名/日 (85.0%)	介護 17.0 名/日 介護予防 0.0 名/日
あたまみホーム (定員：長期 100 名、短期 21 名)	長期	96.5 名/日 (96.5%)	従来型 90.9 名/日 ユニット型 5.6 名/日
	短期	17.0 名/日 (80.9%)	介護 16.5 名/日 介護予防 0.5 名/日

(1) 稼働率の向上（共通）

- 入所検討委員会を年 4 回以上開催し、空床期間の短縮を目指す。

(2) IT 機器（生活支援システム）を活用した業務の効率化（あたまみホーム）

- 各職種の業務日誌を電子化するなど作業効率化を推進する会議を毎月 1 回開催し、職員が利用者に関わる時間を多くすることで、利用者の QOL 維持と向上を目指す。

3. 職員の育成

(1) 新採用職員教育の充実（共通）

- 教育担当職員の育成とリーダーの養成（研修派遣：リーダー 1 名、職員 1 名）

(2) 内部研修会の充実（共通）

- 太田総合病院及び郡山市（出前講座）、民間企業の協力を得た各種研修会の実施（事故防止・感染症・食中毒 各 1 回）

[4] ケアハウス

1. 健全な財務体制の確保と稼働率の向上

事業所名	目標値（稼働率）	
グリーンライフ小磯 (定員：30 名)	28.0 名/日 (93.3%)	1 人部屋 26.0 名/日 2 人部屋 2.0 名/日

(1) 新規入居者の確保及び施設の PR

- 近隣地域包括支援センター等関係機関への PR 活動を継続する。（空室情報毎月提供）

2. 入居者の生活環境改善

- (1) 感染防止対策要綱に基づく行動計画を策定するなど、新型コロナウイルス感染症をはじめとする感染症から入居者と職員を守るため、国の指針等に基づき健康管理や消毒等を徹底して実施し感染防止に努める。

[5] 在宅の介護・支援サービス

I. デイサービス

1. 利用者の自立を支援する質の高い介護サービスを提供

(1) 特別感染症対策事業（共通）

- ・感染防止対策要綱等に基づき、新型コロナウイルス感染症をはじめとする感染症から利用者と職員を守るため、送迎時の体温測定や消毒等の実施を継続

★ (2) 手をかけすぎない介護（太田デイサービス）

- ・「食事の準備」「身の回りの片づけ」「服薬管理」など、IADL（手段的日常生活動作）の自立を促す介助を行うことで、ロコモティブシンドローム（※）を防止

（※）運動器の障害のために移動機能の低下をきたした状態

(3) 自立支援と認知症進行防止（太田玉川デイサービス）

- ・生活機能の維持向上につながる、上肢・下肢・体幹の筋力や平衡感覚を刺激するレクリエーション活動を実施（実践効果を毎月確認）

(4) 自立支援と認知症進行防止（太田小磯デイサービス）

- ・巧緻性の向上を目的とした張り絵や折紙での作品作り、手芸を取り入れた認知機能低下防止活動を実施

2. 健全な財務体制の確保

事業所名	目標値（稼働率）	
太田デイサービスセンター （定員：1日30名）	23.5名/日（78.3%）	介護 19.2名/日 総合事業 4.3名/日
太田玉川デイサービスセンター （定員：1日32名）	25.5名/日（79.6%）	介護 18.6名/日 総合事業 4.9名/日 認知症 2.0名/日
太田小磯デイサービスセンター （定員：1日18名）	16.3名/日（90.5%）	介護 13.4名/日 総合事業 2.9名/日

(1) 稼働率の確保（共通）

- ・契約者増（前年比3%増以上）や利用回数増の働きかけによる目標利用者数の達成

★ (2) 新加算の算定（太田デイサービス）

- ・利用者の自宅訪問による入浴自立支援を行い、上位の入浴介助加算を取得

Ⅱ. ホームヘルプサービス

1. サービス水準の維持と健全な財務体制の維持

(1) 特別感染症対策事業（Ⅱ、Ⅲ、Ⅳの事業共通）

- ・新型コロナウイルス感染症をはじめとする感染症から利用者と職員を守るため、国の指針等に基づき、職員に健康管理を留意させたうえでサービスを提供

(2) サービス水準の維持・向上

- ・認知症への対応力を向上させるため、計画的に認知症介護実践リーダー研修等への参加を推進し、新設された認知症専門ケア加算算定を目指す。

事業所名	目標値（稼働率）
太田訪問介護事業所	14.0 名/日 介護 9.0 名/日 総合事業 5.0 名/日

Ⅲ. 居宅介護支援サービス

1. 収支バランスのとれた財務体制の維持と質の高いケアプラン作成

事業所名	目標値（稼働率）
太田指定居宅介護支援事業所	160 名/月

(1) 質の高いケアプランの作成

- ・医療機関等と連携を図り、退院調整ルールが適切に実践され、安定した医療・福祉サービスが提供できるように計画を作成する。

Ⅳ. 地域包括支援サービス・介護予防支援サービス

1. 地域に根ざした包括的なサービスを提供

(1) 地域高齢者の介護予防推進

- ・地域介護予防教室の開催（10 地区・行政センター、市社協職員と連携し開催）
- ・介護予防教室で嚥下機能の維持向上を図るための口腔ケア・口腔体操を実施

(2) 「おいそカフェ まざっせ」の開催

- ・認知症の方やご家族がなんでも相談できる、なんでも話せる場を提供（年 10 回）

(3) 健全な財務体制の確保

事業所名	目標値（稼働率）
湖南地区地域包括支援センター （湖南地区介護予防支援事業所）	90 名/月

※人が集う事業は、新型コロナウイルス感染症の流行状況を踏まえ適宜実施する。